



# 至善館

SHIZENKAN

大学院大学至善館  
イノベーション経営学術院

2025 年度科目等履修生募集要項

<対象科目>  
アントレプレナーシップと事業創造

## 目的

科目等履修生制度は、至善館の専門職修士課程の開講科目の一部を、修士課程の履修生以外の方に科目単位で履修いただける制度です。科目ごとに募集・選考を行った上で若干名の方に履修を認めるもので、履修を完了された方は単位を取得することができます。

この募集要項では、日本語にて開講する「アントレプレナーシップと事業創造」科目について記載します。科目等履修生を受け入れている他の科目については、P.6を参考にしてください。

## 科目の概要

(シラバスより抜粋。詳しくは本資料の末尾にシラバスを掲載しておりますので、参照してください。)

事業とは「不」の解消である。事業組織の存在意義は、顧客が抱える様々な「不」を解消することを通じて、世の中の様々な社会課題を解消することにある。より大きな社会の「不」、解消が難しい「不」、他に解消する人がいない「不」を解消してこそ、組織は社会における存在価値を持つ。

時代によって顧客が抱える「不」や社会課題は変化をしていく。組織は将来の「不」や社会課題を予見して対応し続ける必要がある。

変化の激しい現代における組織のリーダーには、より高い視座に立って世の中を俯瞰し、自組織の存在意義を問い続ける姿勢が期待される。

この科目では、世の中の「不」を探すという視点から、自社が取り組むべき次世代に向けた新規事業テーマの設定と、実行に伴う組織内のハレーションを見越した実践的な対策の検討を通じて、組織人としてのアントレプレナーシップの醸成と、それを実現していける組織リーダーとしての実践的ビジネススキルの習得を目的にしている。

## 授業開催方法・日時

至善館キャンパスもしくは Zoom を利用したオンラインにて実施することを予定しております。開講日時は以下の通りです（日本標準時間）。

セッション1：2025年11月1日（土）13:00-16:30（至善館キャンパス）

セッション2：11月8日（土）16:45-20:15（至善館キャンパス）

セッション3：11月15日（土）13:00-16:30（至善館キャンパス）

セッション4：11月22日（土）13:00-16:30（オンライン：Zoom）

セッション5：11月29日（土）13:00-16:30（オンライン：Zoom）

セッション6：12月13日（土）13:00-19:30（至善館キャンパス）

## 選考方法

### (1) 選考内容

入学者の選考は、出願書類による一次審査の後、面接試験による二次審査を経て、判定します。面接試験では、出願書類の内容を含め、本科目へ参加いただくにあたっての問題意識や適性について、総合的な評価を行います。本科目は日本語で実施しますので、選考についても日本語で実施します。本プログラムの選考では、GMATやGREのスコア提出を求めません。

### (2) 面接試験

面接は原則としてオンラインにて（Zoomを利用）実施することを予定しております。面接日時は出願時に候補の中から選択していただきます。URL等の詳細については、第一次選考結果通知時にお知らせします。

## 出願資格

出願時点において、次のいずれかに該当する方で、本学入学までに、原則、常勤者として満3年以上の社会人経験を有する方が出願の資格を有します。

- (1) 大学を卒業した方
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 文部科学大臣の指定した方
- (5) 本学において修士課程を受けるにふさわしい学力および実務経験があると認められた方

## 募集人数

若干名

## 出願及び選考プロセス

出願は、本学のウェブサイトより行なっていただきます。出願プロセスは、以下の4つのステップから構成されています。

### ステップ1：出願

- 次の出願フォームの指示に従い、出願してください。第二次の面接審査の希望日程も同時に伺います。なお、出願書類の志望動機の欄は、日本語で記入いただくようお願いいたします。

<https://forms.gle/QV3YcNKHqPjmNNYn8>

### ステップ2：書類選考、面接審査日程のご連絡

- 提出書類をもとに、第一次の書類選考を行います。書類選考を通過した方を対象に、第二次の面接審査を行います。書類選考を通過した方に対して、出願フォームに記載頂いたE-mailアドレスに、事務局より面接審査の日程とZoom URLをお送りします。

### ステップ3：面接審査

- 面接審査は、オンライン（Zoom）にて行います。所要時間は30分程度です。

### ステップ4：合否連絡と入学手続

- 書類・面接審査の結果を踏まえて合否判断を行い、合否結果をご連絡します。
- 合格された方は、科目等履修生登録料と授業料の振り込みをいただきます。科目等履修生登録料と授業料の振り込みの完了をもって、科目等履修生としての受講を正式に認めます。

### 応募締め切り

- 2025年10月10日（金）12:00

### 書類選考結果のご連絡日程（予定）

- 2025年10月10日（金）20:00

### 面接審査日程（予定）

出願フォームに入力いただいた希望をもとに次の日程のいずれかで 30 分を予定しています。

2025 年 10 月 16 日（木）18:30-22:00

### 合否結果のご連絡日程（予定）

出願フォームに記載頂いた E-mail アドレスに、事務局よりお送りします。

2025 年 10 月 17 日（金）

### 入学手続きおよび履修手続き

手続きは、合格通知と併せてお知らせする指示にしたがって行ってください。

手続き期限は 2025 年 10 月 31 日（金）です。

### 出願にあたり入力いただく項目

出願にあたって入力いただく項目は以下の通りです。すべての項目が揃った時点で正式な出願受付となります。締め切りまでに全ての項目が提出されなかった場合、出願は受け付けられません。

1. 氏名
2. 性別
3. 国籍
4. 生年月日
5. 住所
6. 電話番号
7. E-mail アドレス
8. 現在の勤務先
9. 学習歴
10. 志望動機および本科目での学びへのコミットメント
11. 面接日程の希望
12. パスポートの写し（日本国籍以外の方）
13. 在留カードの写し（日本国籍以外の方）

## 入学検定料について

入学検定料は 2025 年度に関しては不要です。

## 学費等について

履修にかかる費用は次のとおりです。

科目等履修生登録料	30,000 円
授業料	200,000 円
合 計	230,000 円

- (1) 授業料には、コースにて用いるケース教材の費用(使用する場合)を含みますが、教科書や参考図書の費用は含みません。
- (2) 前年度または同年度に科目等履修生として他の科目を履修しており、その履修にあたり科目等履修生登録料(以下、登録料という)を支払い済みであった場合、2科目目以降の登録料の支払は免除されます。

## 個人情報取り扱いについて

本学では、提出された出願書類等は、入試関連業務及び入学後の学籍管理関係業務以外には使用しません。本学のプライバシーポリシーについては、本学ホームページをご覧ください。応募した方々は、本学のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。

## 留意事項

- (1) 履修した科目の単位取得要件を満たした方に、単位を授与し、本人の請求により単位習得証明書を発行します。
- (2) 科目等履修生には、通学証明書(通学定期用)及び学割証は発行されません。
- (3) 本学の科目等履修生であることを根拠とする在留資格は、取得できません。
- (4) 授業が未開講になった場合、受講許可を取り消す可能性がありますのでご了承ください。
- (5) 科目等履修生として単位を取得後、5年以内に至善館の修士課程に入学した場合、単位取得科目について、4単位を上限に、取得済みとして認められる場合が

あります。この場合、当該科目の履修に際して支払い済みの授業料の金額を修士課程の授業料より差し引きます。

## 科目等履修生を募集する他の科目

至善館では、本科目以外にも、科目等履修生の受け入れを予定しています。以下が、2025年9月から2026年3月の期間における対象科目一覧です。科目により、2言語で提供（日本語・英語）、英語のみで提供しているものがある点にご留意ください。

科目名	言語	開講時期	募集開始
アントレプレナーシップと事業創造 Entrepreneurship and Business Start-up	日本語	2025年 11月-12月	2025年 9月
	英語	11月-12月	9月
ソーシャル・インパクトの創出	日本語	11月-12月	9月
Leadership and Negotiation リーダーシップと交渉学	英語	2026年 1月-3月	11月
	日本語	1月-2月	11月
Global Management: Strategy, Organization and Leadership	英語	1月-3月	11月



科目名：                   アントレプレナーシップと事業創造  
科目コード：               B303EE-25JP  
実施年度：                二年次前期  
単位数：                   2単位（選択科目）  
実施期間：                2025年11月1日（土）～12月13日（土）  
担当教員：                石川 明 特任教授  
授業実施形態：            対面を中心に、一部オンラインで行う

## 科目の目的：

事業とは「不」の解消である。事業組織の存在意義は、顧客が抱える様々な「不」を解消することを通じて、世の中の様々な社会課題を解消することにある。より大きな社会の「不」、解消が難しい「不」、他に解消する人がいない「不」を解消してこそ、組織は社会における存在価値を持つ。

時代によって顧客が抱える「不」や社会課題は変化をしていく。組織は将来の「不」や社会課題を予見して対応し続ける必要がある。

変化の激しい現代における組織のリーダーには、より高い視座に立って世の中を俯瞰し、自組織の存在意義を問い続ける姿勢が期待される。

この科目では、世の中の「不」を探すという視点から、自社が取り組むべき次世代に向けた新規事業テーマの設定と、実行に伴う組織内のハレーションを見越した実践的な対策の検討を通じて、組織人としてのアントレプレナーシップの醸成と、それを実現していける組織リーダーとしての実践的ビジネススキルの習得を目的にしている。

## 科目の位置づけ：

本科目は、2年次のプログラムの「起業家精神・テックイノベーション」トラックに配置され、営利企業・非営利組織を問わず、組織として新規事業の創出を課題と考えている学生（自ら組織内から起業をする立場か組織内起業を促進する立場かは問わない）を対象としている。新規事業のテーマ設定をゴールとし、詳細な事業計画の策定までは扱わないので、現時点でまだ具体的なアイデアが持ていなくとも、挑戦していく意思があれば履修が可能である。

本科目では、自分の考えていることを学生同士の討議を通じて磨いていくことで、より考えを収斂させ、最終的に自分に取り組んでいく新規事業のテーマを明確に言語化することができるようになるようデザインされている。

その過程において、学生は 1 年次における経営数字、ファイナンス、マーケティング、構想、戦略、システム思考等の経営スキル科目、さらには 2 年次初めの「事業計画の策定とビジネスモデル」によって得られる統合的な経営の視点を、フルに活用することが求められる。また、1 年時におけるリベラルアーツ科目において学んだ、人間社会についての洞察もまた、将来の「不」について検討する上では有用である。2 年次の個人演習（ゼミ）で取り組むテーマの設定に繋げることも、本科目の狙いとなっている。

科目のフォーカス：

本科目は、自身が目指す「全人格リーダー」像を「アントレプレナー」という視点から言語化することから講義を始める。

組織人・アントレプレナーとして自身が自組織において取り組んでいくテーマを設定することがゴールとなる。

授業は、自分だけの思い込みをさけるため、学生相互のディスカッション、相互メンタリングを多用する。話すことで、訊かれることで、自分の中にあるものを整理していくプロセスを重視する。

議論は、「自分自身」「所属組織」「世の中」3つのレイヤーの視点それぞれから「自分」と「組織」が果たしてきた役割を棚卸するところから始める。

「WILL/CAN/NEED」3つの輪を「自分/組織/世の中」3つのレイヤーに当てはめることで、組織が・自分が世の中で果たすべき役割が、世の中の変化を見越した上でどう変わっていくかを予見し、自身が組織のリーダーとして果たすべき役割を認識する。

「組織は、世の中の『不』を解消してこそ存在意義を持つ」という考え方をベースに、世の中の変化に合わせ、この先どんな「不」の解消に取り組んでいくのかという視点で、自身が・自組織が取り組むべき新規事業のテーマを設定する。

テーマの設定に当たっては、担当教員独自の「国・算・理・社」思考法を使って「不」を掘り下げるアプローチを行う。

最終的には、自組織の世の中における存在価値がどこにあり、次世代においてもその使命を果たすためにはどんな新規事業アイデアが有効か、そのアイデアの実現にあたっては何がKSF（Key success factor）で、実現していくためには何の壁を越えることが必要か、を示した上で、このテーマを組織の中で実行をしていく上でどんなハレーションが推測されるかを予見し、それを乗り越えていく上では自身がどの

ように組織に働きかけていく必要があるか、自組織の中で推進していくための実践的な方法を考えるレベルを目標にする。

学修の到達目標：

世の中の「不」を解消することこそ組織としての存在価値があるという視点の元、「WILL/CAN/NEED」3つの観点から自組織そして自身の存在意義を模索するフレームワークを学ぶ

自組織が取り組むべき新規事業のテーマを探索する「国算理社・思考法」を学ぶ

自組織の中から新しい事業を興していく上で組織に生じるハレーションを推察するための視点、組織の壁を乗り越えて実践していくための「DeepSkill」を学ぶ

これらのプロセスを通じて、自身が目指す「全人格リーダー」像を、アントレプレナーシップという観点から言語化する

学修アプローチ：

この科目においては、単に事業環境を分析するだけでなく、自組織の社会における存在価値を高めるためにどんなテーマに取り組むべきか、高い視座からの新規事業のプランニングを行う。

評論家的な立場ではなく、自身が当事者として主体的に施策を考えることが求められる。

実際に社内決裁を得て実現に向けた一步を踏み出したりできるようになるために、担当教員からは豊富な実務経験に基づいて実践的なフィードバックを行い、事業化の実現をサポートする

教科書：

『はじめての社内企業』（石川明著・U-CAN・2015年）

参考図書：

『新規事業ワークブック』（石川明著・総合法令出版・2017年）

『DeepSkill』（石川明著・ダイヤモンド社・2022年）

『すごい壁打ち』（石川明著・サンマーク出版・2025年）

コース評価：

この科目の成績評価は、以下のように行う。

- ・作成する起業・社内起業（新規事業）プラン、およびピッチ 60%



- ・各学生によるプレゼンに対するフィードバックの質 40%

出席要件を満たすこと（6回中4回以上）に加えて、セッション4及び5における他学生の間発表へのフィードバック及び、セッション6におけるプレゼン及び他学生へのフィードバックは単位取得の必須要件となる。これらを未提出の場合は、単位の取得はできないものとする。

これらのセッションに万が一欠席する場合であっても、次のセッションまでに必ず講義ビデオを視聴し、他学生へのフィードバックを提出すること（ただし、これは出席の代替にはならない点に留意されたい）。また、「事業案の仮発表」「最終ピッチでの発表」に参加できない場合はファカルティに事前に相談されたい。これらの条件を満たさなかった場合には、F評価となる。

各セッションの概要：

本科目は、六回のセッションで構成される。

第4回と第5回を除き、オフラインで行う。オフラインの回におけるオンラインでの参加は出席扱いとはしない。

各セッションの概要：

セッション1：組織人アントレプレナーとしてのマインド・セット[3時間30分]

セッション2：テーマの探索[3時間30分]

セッション3：新規事業のテーマを立て、それが何への挑戦なのかを定義する[3時間30分]

セッション4：新規事業テーマ案の仮発表①[3時間30分]

セッション5：新規事業テーマ案の仮発表②[3時間30分]

セッション6：最終ピッチ[6時間30分]

以上

---

## お問い合わせ

大学院大学至善館 事務局

住所: 〒103-6117 東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 17F

電話: 03-6281-9011

E-mail : [admissions-non-degree@shizenkan.ac.jp](mailto:admissions-non-degree@shizenkan.ac.jp)